

イランイスラム共和国の
障害者バリアフリー支援事業
バリアフリーまちづくり研修
報告書

平成24年9月

NPO 法人 イランの障害者を支援するミントの会

ごあいさつ

理事長 パシヤイ モハメッド



(2012年2月 よこはま国際協力賞受賞の時)

2012年度、ミントの会は、昨年度行なったバリアフリー研修の際に参加者から頂いた「僕も公園に行きたい」「仕事に通えるようにしてほしい」という声を受け止め、イラン福祉省やキャラジ市役所と協働し、バリアフリー支援事業を行いました。

この事業は、神奈川国際交流財団 民際基金の助成を受け、日本のバリアフリー専門家の寺島先生と宮地先生にご協力いただき、障害当事者参加のワークショップとまち歩きのプログラムでした。両先生には日程が押し迫った状況で企画作成と実施といった過程を、快くお引き受け頂き、素晴らしい内容の研修会を開催され本当にありがとうございました。また、今回の研修会実施に関わっていただきました皆様に、深く感謝いたします。

今回大成功を取めたバリアフリー支援事業は、今後もイラン国内全土に広がることが期待されています。この要望に応え、ミントの会はこれからもイランの障害者の直接的な支援と合わせて、行政やNGOに働き掛けるといった活動を行ないたいと思います。

障害者の取り巻く状況は厳しいものがありますが、障害者の生活が少しでもより豊かに過ごせますよう皆様のご理解と御支援をお願いいたします。

目次

1. 事業概要	4
1-1. 経緯と目的	4
1-2. スタッフと滞在期間	4
1-3. 研修場所「キャラジ市」の位置	4
1-4. 実施日程	5
1-5. 参加者	5
1-6. 参加者とキャラジ福祉省との会見写真	5
2. 研修企画	6
2-1. 目的	6
2-2. 期待する成果	7
2-3. BFまちづくり研修プログラム（概要）	7
2-4. 日本のBF整備基準の資料構成	8
2-5. BF備品、記念品等の提供	9
3. 研修の記録	10
3-1. 第1回：「日本のBF紹介」（講義）	10
3-2. 第2回：「まち歩きでBF検討」（車いす体験）	22
3-3. 第3回「まとめと改善アイデア」	28
4. マーハン通りBF改善計画（試案）	46
5. プレワークショップの記録	50
5-1. 概要	50
5-2. 目的	50
5-3. プログラム	51
5-4. まち歩きの記録	52
5-5. ワークショップの準備品	53
6. 参考資料	55

【用語の略記】
BF = バリアフリー
UD = ユニバーサルデザイン
WS = ワークショップ

1. 事業概要

1-1. 経緯と目的

【経緯】

イランでは、近年、人口の増加とともに、都市部（テヘラン・キャラジ地区）の高層住宅建設や交通量の増加がみられ、生活環境が急激に変化してきている。一方、歩道や交通機関などの都市基盤整備は遅れており、障害のある人たちの外出は困難を極めている。

NPO 法人イランの障害者を支援するミントの会（以下、「ミントの会」と称する）では、法人設立（2010年）前の2006年より、イランに住む障害者に車いす等の福祉機器を届けたり、介護やリハビリの相談活動に取り組んだりしてきた。

今回、その流れを受け、アルボース州の州都キャラジ市で障害者の外出困難を解決するため、「バリアフリー（BF）まちづくり研修」を実施する運びとなった。

【目的】

今回の研修の目的は、以下の3点である（詳細はp6参照）。

- (1) BF整備のテーマの発見
- (2) 当事者参加、及び車いす体験によるBFまち歩きの見学手法の体験
- (3) 日本のBF整備の技術を伝える

1-2. スタッフと滞在期間

【スタッフ】	パシャイ・モハメッド	理事長（車いす使用者、ピアカウンセラー）
	大澤照枝	理事（訪問看護師）
	大澤孝明	事務局（会社員）
	寺島 薫	バリアフリー専門家（株式会社アークポイント）
	宮地成子	ワークショップ支援（有限会社プレイス）

【滞在期間】	パシャイ・モハメッド	2012年5月10日（木）～8月9日（木）
	大澤照枝・大澤孝明	2012年6月8日（金）～6月16日（土）
	寺島 薫・宮地成子	2012年6月15日（金）～6月21日（木）

1-3. 研修場所「キャラジ市」の位置

●イランイスラム共和国（イラン）の位置



キャラジ市
(KARAJ)
人口170万人

テヘラン市
人口680万人

●テヘラン市とキャラジ市の位置関係



1-4. 実施日程 (詳細は p 7 参照)

<事前スタッフ会議>

- 6月15日(金) キャラジ市内視察とプログラム修正
- 6月16日(土) ベヘジスティに事前説明、現場確認

<研修日程>

- 6月17日(日) 【第1回研修】「日本のBF紹介」(座学研修)
- 6月19日(火) 【第2回研修】「まち歩きでBF検討」(車いす体験)
- 6月20日(水) 【第3回研修】「BF改善提案の検討」等

1-5. 参加者

合計32名

<行政メンバー 21名>

- ・キャラジ福祉省のBF担当職員/キャラジ市役所のBF担当職員

<NGO 2名>

- ・NGO イラニアンハンディキャップネダアソシエーツ代表者 他1名

<スタッフ 6名>

- ・パシャイ・モハメッド、パシャイ・ソフバトラオ (パシャイ兄/付添い)
/寺島薫、宮地成子
- ・通訳: アキバリ・フーリエ、ファテメ・ボルジェルディ

<メディア 2名>

- ・DVD撮影「シャリフ・フィルム」/地元新聞「ジャーメ・ジャメ」記者

1-6. 参加者とキャラジ福祉省との会見写真



研修前日に、シフ・アクバリ室長にあいさつに伺い、研修内容について説明、調整を行った



研修終了後の参加者集合写真



研修終了後、所長に報告するため訪問。
右から、パシャイ、モルテザ・モカリヤン、
寺島、宮地、通訳のアキバリ・フーリエ

(5) ジャーメジャメ紙の記事 (jamejame / 2012年7月4日)

شعبه رایگان روزنامه در استان البرز

فضای بهتری را برای معلولان بسازیم

1381 شماره 740



معلولان کتک، شهرداری البرز، طرفه دفتر درست بر سر خود با معلولان و خانواده‌های محترم، برای نوک و کارگاه و تعمیرات بیشتر کتک های استان، این گروه فیلم ها منتشر شده است. گروهی از دانش آموزان طراس می‌باشد و در اختیار مدیران سنی مجله‌های می‌باشد.

فرانسه، برای تکمیل مسابقات، به هم می‌نشیند و گروهی از دانش آموزان کتک، در این کتک در این گروه چهارم می‌باشد. دانش آموزان در این کتک، در این گروه چهارم می‌باشد. دانش آموزان در این کتک، در این گروه چهارم می‌باشد.

فرانسه، برای تکمیل مسابقات، به هم می‌نشیند و گروهی از دانش آموزان کتک، در این کتک در این گروه چهارم می‌باشد. دانش آموزان در این کتک، در این گروه چهارم می‌باشد.



استاد آفرینان کتک، گروهی از دانش آموزان کتک، در این کتک در این گروه چهارم می‌باشد. دانش آموزان در این کتک، در این گروه چهارم می‌باشد.

فرانسه، برای تکمیل مسابقات، به هم می‌نشیند و گروهی از دانش آموزان کتک، در این کتک در این گروه چهارم می‌باشد. دانش آموزان در این کتک، در این گروه چهارم می‌باشد.



گروه کتک، در این کتک در این گروه چهارم می‌باشد. دانش آموزان در این کتک، در این گروه چهارم می‌باشد.

فرانسه، برای تکمیل مسابقات، به هم می‌نشیند و گروهی از دانش آموزان کتک، در این کتک در این گروه چهارم می‌باشد. دانش آموزان در این کتک، در این گروه چهارم می‌باشد.

مطلبی که در این گروه چهارم می‌باشد. دانش آموزان در این کتک، در این گروه چهارم می‌باشد.

فرانسه، برای تکمیل مسابقات، به هم می‌نشیند و گروهی از دانش آموزان کتک، در این کتک در این گروه چهارم می‌باشد. دانش آموزان در این کتک، در این گروه چهارم می‌باشد.

(6) تهران脊損協會 HP.

برگزاری اولین کارگاه آموزش مناسب سازی با همکاری انجمن نضام ژاپن



اولین کارگاه آموزش مناسب سازی با همکاری انجمن نضام ژاپن در تاریخ 1391/03/28 در محل سالن کنفرانس اندام بهزیستی کرج برگزار گردید.

این کارگاه به با حضور کارشناسان شهرداری، استنادی، بهزیستی البرز و انجمن نمای متولین ایران برگزار شد. روزهای 30 و 31 خردادماه 91 ادامه خواهد داشت و کارشناسان یا روشهای مناسب سازی در کشور ژاپن آشنا خواهند شد که قطعاً در برنامه های مناسب سازی محیط های شهری و استان خمومی برای افراد دارای معلولیت در ایران مورد استفاده قرار خواهد گرفت.

انجمن نمای متولین ایران





イランイスラム共和国の障害者バリアフリー支援事業
バリアフリーまちづくり研修
報告書

2012 (平成 24) 年 9 月

発行 特定非営利活動法人 イランの障害者を支援するミントの会
編集 (株) アークポイント (寺島 薫)
(有) プレイス (宮地 成子)

連絡先

TEL 080-3496-3423

FAX 0463-79-5755

Mail mint_assist@yahoo.co.jp

URL www.mint-assist.com